

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.206 (2009年12月2日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

当面の
日程

- 12月 2日(水) 第1回地方連合会代表者会議(東京)
- 3日(木) 連合第56回中央委員会(東京)
- 4日(金) 公契約条例制定、先進地視察(沖縄)
- 5日(土) 青年委員会総会 11時(労館502号)
- 7日(月) 第21回女性委員会定期総会

18時(ホテルクレメント徳島)

県に雇用対策などで要望書提出



連合徳島は11月27日、景気や雇用情勢の厳しさが続く中、緊急雇用対策や新卒者の就職支援などを盛り込んだ「地域における雇用・生活防衛のための総合対策に関する要望書」を飯泉県知事に提出し、要請行動を行った。

連合徳島から小松会長、齋藤事務局長ら執行部と女性委員会のメンバー9人が県庁・知事室を訪問。冒頭、小松会長から「日本経済は5四半期ぶりに実質成長率がプラスとなったものの、働く者の生活実感は一向に改善の兆しが見られない。完全失業者も全国で360万人を超え、県

内の情勢も非常に厳しい状況で、緊急な経済・雇用対策の強化が求められている。政府は、10月23日に『緊急雇用対策』を取りまとめたが、連合も10月29日の第1回中央執行委員会で景気・消費回復、雇用・生活防衛のための総合経済対策の効果的な実施、雇用のセーフティネットの整備・拡充、安心して暮らせるための社会保障制度の確立、の3本柱を中心とした政策課題に取り組むことを確認した。徳島県においても早急な対応をお願いしたい」とあいさつし、飯泉知事に要請書を手渡した。

内容は、県独自の雇用創出事業の実施、地域医療体制の確保と医療従事者の処遇改善、公共事業現場の労働条件向上などを旨とする公契約条例の制定 - などの6項目。さらに、公契約基本法の制定を国に要望するよう、強く要請した。

これに対して飯泉知事は、厳しい財政事情があるものの、連合の要請に理解を示した上で「共に力を合わせて、新政権に対策を求めていきたい」と話された。

ゆとりワークショップ ー女性委員会ー

女性委員会主催で、「メディア社会と子どもたち」と題して徳島県教組の行本明典さんが講演された。はじめに、「前に書いてあるアドレスは私の携帯のメールアドレスですので、すぐ送って下さい。悪用しませんから」といきなり言われ、会場の参加者は、自分の携帯を見ながらアドレスの英数字を打つのに必死でした。「2件来たらストップします。はい、もう高校生ならきてますよ」2分後くらいに「ストップ!!」と言い、私はまだ@までも打っていない状況でした。携帯やパソコンのキーワードチェックをしたり、今どきの中高生の実態を聞くと驚くことばかりでした。子どもをもつ参加者は「わからなかった事がたくさんあり、本当に参考になったなあ」という感想を聞きました。行本さんは最後に「18歳以下の子どもの携帯購入時には必ずフィルタリングをかけること。子どもの行動の変化に早い段階で気づくこと。フィンランドでは携帯の普及率はとても高いが、日本のように



事件は起こっていない。日本の親の過重労働や子どもの塾通いなど、原因はたくさんあります。地域や家族を大切に、夕方六時には帰宅しているフィンランドを見習うべきです」と締めくくった。

ポップサーカス 好評販売中!

徳島公演期間

2009年12月26日~2010年2月14日

場所 徳島空港北 サンスター特設大テント会場(松茂町豊久字豊久開拓)

チケット幹旋販売期間

2009年12月11日まで

料金 大人(高校生以上)2,000円
子ども(3才以上中学生)900円

申込み 連合徳島事務局まで